

中央大学高等学校

毎年9月は中央大学高等学校の生徒たちの人気行事である文化祭(名称:後楽祭)と体育祭が開催される行事月間です。それぞれ、生徒たちの熱い思いが現れた行事となりました。

■ 後楽祭

本校の文化祭である後楽祭を、9月6日(土)・7日(日)に開催しました。今年は中央大学高等学校の家族のような雰囲気を表す「意輝揚々~CHUO is OUR HOME~」をスローガンに掲げました。高校体育館のステージや小ホールで軽音楽部、吹奏楽部、演劇部、書道部等がパフォーマンスを行い、図書委員はジブリオバトル(発表者がオススの本を持ち寄り、その本の魅力を紹介し合う書評ゲーム)を開催し、多くの来場者がありました。また、例年行われているモザイクアートや書道部・美術部の展示など盛り沢山の企画でした。9月7日(日)の一般公開日に

は、小雨の降るなか、約1,800人の来場者があり、模擬店・バザーなども大いに賑わいました。

■ 体育祭

今年は9月16日(火)・17日(水)の2日間で実施されました。1日目は大学アリーナを使用し、棒引きや騎馬戦の予選を行い、2日目は会場を東京体育館に移しました。体育祭の2日目の見せ場は応援合戦です。本校の体育祭では各学年のA~D組の4つの応援団(1~3年の合同チーム)が結成されます。各チームがそれぞれの思いを込めて作った応援団旗を振りかざし、オリジナリティあふれる応援を繰り広げました。プログラム終盤の棒引き、騎馬戦、綱引き、選抜リレーでは、生徒はもちろん応援に駆けつけた御父母の方々の盛り上がりも最高潮に達し、白熱した1日となりました。



(上)後楽祭、吹奏楽部による演奏



(下)体育祭見せ場の応援合戦

中央大学杉並高等学校

■ 国際協力プログラム・タイ研修実施

7月24日(木)~8月2日(土)にかけて、国際協力プログラム・タイ研修が行われました。このプログラムは、中央大学国際センター、JICA(国際協力機構)に加えて、グローバルに展開する企業等の協力を得て実現した、PBL(課題解決)型の海外研修です。

…………… 参加した生徒の声 ……………
今回の研修では、様々な視点(JICA、NGO、企業等)から見た国際協力を学ぶことができました。実際に行って初めてわかることも沢山あり、自分で体験することの大切さを学びました。また、自分の国、日本のことなのに知らないことが多く、まずは日本の国の制度や文化を改めて学びたいと思いました。将来はこの研修で学んだことを活かし、青年海外協力隊で働きたいと思っています。

(高校3年・甲州優太)

■ 多摩キャンパスにて体育祭開催

9月20日(土)、大学アリーナにて第52回体育祭が行われました。本校の体育祭は、1・2年8クラス、3年9クラスを4色に分け、色別対抗で行われます。ホームルームを基本単位とする学校行事のため、1年生から3年生までがクラスの仲間と一緒にしておおいに盛りあがります。行事の実行委員長を3年生が務めるというのも大学附属校ならではの、約1,000名の生徒の熱い声援がアリーナ中に響きました。1年生は多摩キャンパスで参加する初めての学校行事。アリーナの大きさに目を奪われていました。3年生は来年からこのキャンパスで学ぶ生徒がほとんど。高校生活の思い出として残る貴重な1日となったのではないのでしょうか。中央大学杉並高等学校は、3年生も最後まで学校行事に全力投球。ここでしか出会えない仲間との一場面が、未来の自分へと、つながっていきます。



(上)バンコクのワット・ポーにて



(下)体育祭の様子

中央大学附属中学校・高等学校

■ 台湾交流プログラムの新たな展開

11月12日(水)、台湾の新北市立海山高級中学の生徒112名と校長先生ら7名が附属高校に來校しました。海山高級中学には2013年度に本校生徒16名が訪問し交流を開始しましたが、今回新たな発展となりました。

当日は生徒たちがバディー(案内役)を務め、午前中は各クラスに分かれて生徒とともに授業を受けました。午後からは一同が講堂に集まり、2年生主体による歓迎イベントを開催。映像を流しながら、お互いの学校や国を紹介し合った後、海山中学生徒によるダンスが披露されると会場は一瞬にしてヒートアップ。その後も、附属生徒による剣道やクイズ大会などで交流を深めました。

滞在は僅かな時間でしたが、別れ際には抱き合って友情を確かめ合う生徒の姿があり、心をつなぐ交流になりました。



(上)海山高級中学の生徒も授業に参加



(下)小金井消防署の指導で救助活動体験

■ 防災体験

災害発生時には生徒どうしがお互いに協力し、助け合うことが重要です。附属中学校では10月31日(金)、小金井消防署の協力を得て防災体験を実施しました。起震車による大地震体験、消火ホースを用いた消火活動、けが人の介護やAEDを用いた救助活動を体験。机上の学習では決して身につかない、貴重な体験となりました。

このほか、10月9日(木)には全校生徒が参加して避難訓練を実施、また12月3日(水)には地震警戒宣言発令時を想定した下校訓練が行われました。日頃から防災意識を高める様々な活動を行うことで、生徒が自ら考え行動できる安全教育を実践しています。

中央大学附属横浜中学校・高等学校

■ 紅央祭(学園祭)

9月13日(土)、14日(日)の両日、学園祭を開催しました。2014年度のテーマは「千紫万紅」、色々な色という意味で、「生徒それぞれが持つ万の色を中央が掲げる赤という色の下で発揮できるように」という思いが込められています。クラスをはじめ、部活や同好会の出店、催し、パフォーマンス、学習展示等で校内はとて華やかな雰囲気に包まれ、テーマの通り、生徒それぞれの個性が発揮された2日間となり、2日間で12,830名の來校がありました。

■ 体育祭

10月3日(金)、体育祭が開催されました。新校舎に移転した2013年度は、牛久保校地グラウンドで中学校、大柵校地グラウンドで高等学校と両校地での同時開催でしたが、2014年度は牛久保校地グラウンドで中高合同の体育祭となりま

した。晴天の下、緑の人工芝に、高1・中1の黄色、高2・中2の赤、高3・中3の青のTシャツが映え、グラウンドの光景はとて色鮮やかでした。中学・高校の垣根を越えたチーム編成により、普段はあまり接点がない上級生と下級生が、協力・応援し合う姿が印象的でした。

■ 東京横浜独逸学園と交流開始

10月11日(土)に本校生徒会有志が、お招きを受けた「東京横浜独逸学園オクトーバーフェスト(文化祭)」を訪問しました。東京横浜独逸学園はドイツ政府公認の在外独逸学校です。独逸学園の生徒会役員の方で、インターナショナルスクールらしい文化祭を見学し、色々な刺激を受ける体験となりました。今後の交流に向け、双方生徒会の連絡先を交換し、生徒主体の交流のきっかけとなる1日になりました。



(上)紅央祭でのパトンのパフォーマンス



(下)オクトーバーフェスト(文化祭)にて